

きそさきの

# ギカイ

VOL.126

2026

令和8年2月1日発行

木曽岬町議会だより



## おもな内容

- 議員トピックス ..... 2~3
- 第4回定例会・第1回臨時会 ..... 4
- ここが聞きたい【一般質問】... 5~7
- 議会日誌 ..... 8
- 編集後記 ..... 8

表紙は、議員撮影の写真です。

撮影者：黒宮武史議員

撮影場所：木曽岬町役場

議員からひとこと

：NEWトマッピーバス





- 東員町議会との合同研修会（令和7年10月17日(金)）
- 県外視察研修（令和7年11月6日(木)～7日(金)）

## 国会議員への 要望活動

三重県選出の国会議員をはじめとし、衆・参両院議員10名の事務所を訪問し、「木曽川左岸堤防耐震・高潮対策に関する要望書」を提出しました。

11月6日

私たちが暮らす木曽川下流域は、我が国の三大経済圏の1つである中部圏の中に位置し、古くから本県三河や伊勢湾の豊かな水資源の恩恵を受け、工業、農業、水産業といった各種産業が興隆してきました。

反面、当地域は、我が国最大の海抜ゼロメートル地帯である濃尾平野に位置していることから、古くから水害との闘いを続けてきました。

そうした場合、昭和34年の伊勢湾台風を契機に大規模な治水事業を推進し対応いただいた結果、安全性が大幅に高まり、観光資源を利用したまちづくりや、全国有数の産物の生産地となる等、地域経済が発展し続けています。

しかしながら、近年、気候変動等の影響による豪雨や高水など気象災害の激甚化・頻発化が大きな課題であります。

また、昨年8月には台風被害と関連する地震が発生したことに伴い、南海トラフ地震の想定震源域内での発生であったため、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が初めて発表されました。

当地域は「南海トラフ巨大地震」が予測され、40年以内の発生確率が90%程度と高く、被害想定においては、地震が激震であることから、地震による液状化などで堤防が沈下し、津波到達前に浸水が発生することが予想されております。

これまで河川部の耐震対策「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を実施いただき、治水安全度の向上が図られているところですが、町民は、安全で安心して暮らせるよう更なる河川改修事業の着実な推進を要望しております。

また、当地域に位置する「木曽岬干拓地」の新築工業団地は総面積45.9haの分譲が完了しており、企業誘致は顕著に進行し、分譲が完了した事業所16社のうち、既に11社が事業を開始している状況です。

一方、木曽岬干拓地の河川問題は、耐震性だけでなく、高潮対策としての堤防高も不足している状況であり、干拓地内の災害に対する安全確保の増加の課題となっています。

要望書本文

干拓地の堤防壁は伊勢湾に面し、発生が危惧される南海トラフ地震や、スーパー伊勢湾台風等の高水害に対して最前線にありながら、耐震補強・高潮対策等について、河川整備計画に位置付けられておりません。

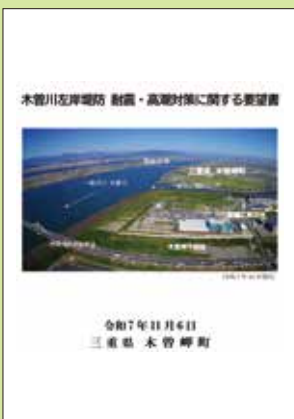
干拓地の堤防壁は、立地企業はもとより、背後地に名古屋西部の人口密集地をむかえ、中部のものづくり産業やエネルギー産業が集積する名古屋近隣の企業群の安全・安心に大きく寄与することとなります。

以上のような状況を踏まえ、最速で高配を賜りたく、次の事項について強く要望いたします。

1. 災害に強い強靱な国土をつくり、安全・安心かつ豊かで活力ある社会を実現することは、国の最も基本的な責務である。  
近年相次いで発生している大規模な災害での教訓、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の評価を踏まえ、「国土強靱化南海中間計画」により、国土強靱化に必要な事業量を確保すること。  
また、計画に基づき、令和8年度当初予算において物価や人件費の高騰による影響を踏まえた上で必要・十分な予算を確保すること。
2. 木曽岬町内における全ての高潮堤防について、南海トラフ地震等に備え、地震・津波対策の地盤改良を早期に実施すること。
3. 木曽岬干拓地の安全性向上を図る堤防について、河川整備計画に早急に位置づけるとともに、高潮対策及び耐震補強を進めること。

令和7年11月6日  
木曽岬町議会議長 服部 英二夫

要望書表紙



## 町の課題に対する省庁との勉強会を実施

文部科学省

環境省

11月6日



文部科学省職員からは、外国にルーツを持つ子どもたちの教育現状や支援策について説明をいただきました。近年、外国人児童生徒の増加により、言語の壁や教員の専門性不足など自治体が抱える課題が増大してきています。他自治体の先進的な事例も紹介され、町として何ができるか意見を交わしました。

多文化共生の観点から、子どもたちが安心して学べる環境づくりに取り組まなければならないと感じました。



環境省職員からは、不適正ヤードに関する現状と課題についてお話を伺いました。平成29年に廃棄物処理法が改正されましたが、依然として不適正ヤード問題が全国的に課題となっています。

乱立するヤードや20を超える国の外国籍町民への各種対応など、木曽岬町が抱える特有な課題の現状を訴えてまいりました。

国の対応方針等を注視し、町の課題解決に向け県をはじめとした関係機関との連携を強化し、安全・安心なまちづくりに議会としても取り組みを進めてまいります。

3月の「伸びゆく木曽岬町のふれあい広場2026」で、「町民の皆さまとの懇談会」を開設いたします。皆さまのお越しをお待ちしております。

# 議員トピ



神奈川県開成町（東日本最小の町）

「全ては町民のために町民とともに  
町民へ『魅せる』取組みを進める」

11月7日

（開成町議会）



今回の研修では、「議会広報の取組み」として、令和3年5月から進められた「読む」から「見る」魅せる」改革、令和4年9月に開設された議会独自のウェブサイトの取組みをお伺いしました。合わせて、広報改革のその先として、広聴活動の推進にも取り組まれており、「町民フェスタ」への議会としての参加など、多岐に渡る計画的な議会の取組みをお聞きし、質疑応答を含め、実りある研修を終え、木曽岬町議会における改革を進めていく必要性を改めて感じました。



開成町役場の町民プラザ

東員町議会との

合同研修会を

開催しました

木曽岬

東員町議会との合同研修会を行い、防災センターや南部・北部地区避難タワー、川先及び近江島排水機場を視察しました。

視察終了後の質疑応答では、東員町議会の議員から多くの質問やご意見をいただき、本町議会としても各施設の役割や、重要性を再認識できた大変貴重な機会となりました。

合同研修会を通じて得た知見を今後の活動に活かしたいと思います。





## 令和7年 第4回定例会（12月3日から9日間開催）



# 主な議案を紹介します！

### 議案第60号 木曽岬町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

今まで、コンビニ交付での証明手数料は、役場窓口と同額の1件300円でしたが、4月1日からコンビニでの手数料が1件150円になります。

午前6時30分から午後11時まで（12月29日から1月3日までを除き無休）ですし、どこのコンビニでもサービスが受けられるので益々便利になります。

**取扱証明：住民票の写し、住民票記載事項証明書、  
印鑑登録証明書、所得証明書、  
課税証明書**



※コンビニ交付とは、マイナンバーカード又はスマートフォン用電子証明書を搭載済みのスマートフォンを利用して、市区町村が発行する証明書（住民票の写し、印鑑登録証明書等）が全国のコンビニエンスストア等の多機能端末機（マルチコピー機）から取得できるサービスです。

### 議案第61号 木曽岬町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

就労要件を問わず時間単位で柔軟に保育施設等を利用できる新たな通園給付制度とし「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）」が創設され、木曽岬こども園でも令和8年度から実施されます。



### 議案第53号 令和7年度三重県桑名郡木曽岬町一般会計補正予算（第3号）について

#### 小学校費

小学校の3教室で不具合が生じているエアコンの取替え費用が計上されました。本年度末までに取替えが完了する予定です。



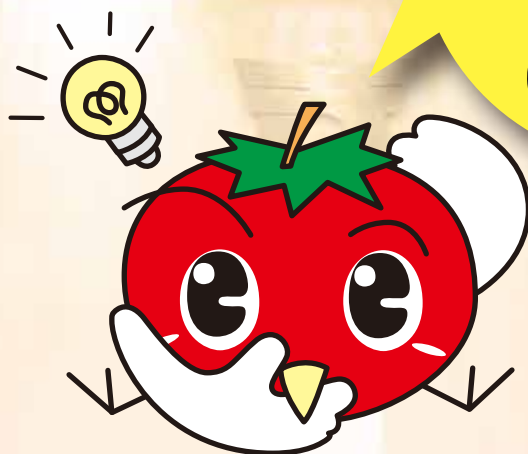
## 令和8年 第1回臨時会（1月22日開催）

### 議案第1号 令和7年度三重県桑名郡木曽岬町一般会計補正予算（第4号）について

#### 児童福祉費

子育て世帯を支援するため、0歳から高校3年生までの子ども1人あたり20,000円の応援手当が支給されます。

ここが  
聞きたい



## 2名の議員が一般質問

ページ数 6  
・1番議席 黒宮武史 議員

● 農業用施設の再利用化について

ページ数 7  
・2番議席 波多野光雄 議員

● これからの木曽岬町自治会について

### 《議会放送に係る注意事項》

この議会の放送(映像及び音声)は、木曽岬町議会の公式記録ではございません。  
議会放送の映像、写真、音声、記事等の著作権は木曽岬町議会に帰属しますので、無断で複製・転用することはできません。

「一般質問」とは、議員が議案とは関係なく町政全般にわたって町長等の考え方や意見を求めるものです。

この記事は、質問議員本人が作成した原稿を議会広報常任委員会が編集したものです。  
なお、掲載文は紙面の都合で要約(約五〇〇文字)されておりますが、一般質問の議事録は木曽岬町ホームページで順次ご覧いただけます。

木曽岬  
チャンネル  
MISOUMI CHANNEL



町ホームページ





## 質問

農業従事者の高齢化に伴う後継者不足による農業用施設の撤去や放置が問題となっておりあります。

利用予定のない農業用施設を貸し出すことで、町内外から新規就農者を募ってみてはどうでしょうか。

親元就農以外の新規就農希望者は、施設園芸を始めには農地の確保、農業用施設の建設など莫大な初期投資が必要となります。

農業用施設の賃貸、就農者に対する技術支援、過去のデータによる作物別の年間の収支など、農業経営のサポートを充実することによって、木曾岬町での就農率が上がるのではないかと考えます。

こういった政策が農業用施設の不正利用や農業の衰退化も防ぐ手立てになると思いますが、今後の農業のあり方について、どのような考えをお持ちかお聞かせください。

# 「空きハウス就農希望者に」

## 把握、リスト化、有効利用を進める(町長)

## 答弁

利用されていない空きハウスが町内に点在していることは認識しており、今後の町における農業のあり方を考える上でも対応の強化を図っていく必要があると考えています。

利用予定のない空きハウスを町内外の新規就農者に貸し出すことは本町の農業振興にとって大変有効な視点であり、既存の支援策をさらに拡大する上で極めて重要な施策であると考えています。

貸主・借主双方にとって、検討すべき課題は多くありますが、整理し適切に対応できるように、関係機関と連携し、空きハウスの把握と所有者の意向確認を進め、情報の集約とリスト化を進めていきたいと考えています。

空きハウスの有効活用が実現していけるよう、新規就農者を支援する取り組みをさらに充実させていきます。



1 番議席

黒宮武史 議員



質問

ある自治会規約には、「本会の目的は会員の民主的協力により運営されると共に居住者の親睦を計り住み良い環境を作ることにある。」とされており、分かりやすい文面となっています。しかし、昭和・平成・令和と時がたち自治会活動の在り方が問われています。

地域の共助システムとしての自治会に入会しない方の対応をどうすれば良いか、ゴミ出しの問題も然りです。

ここで提案ですが、例えばモデル自治会として、人材の育成や、会費を集めない自治会運営、デジタルの活用など、町としてテコ入れして、きめ細かい支援をいただき、これが機能すれば水平展開へと前進させるのはどうでしょうか。



# どうする木曾岬町自治会

## 情報収集や課題の検討、間接的な協力(町長)

答弁

現代社会においては、自治会を取り巻く環境が大きく変化しており、その活動のあり方そのものが問われているのも事実であり、自治会活動の持続可能性について、共に考えていく必要があると考えています。

しかし、自治会は地域住民が自らの意思で運営する「自主的な組織」であります。この「自主性」こそが、自治会活動の根幹であり、その存在意義を支えるものであることから、町は、自治会の活動を「指示」したり、「主導」したりする立場ではなく、必要な情報の提供や、地域の活性化に資する活動に対する支援を行う立場に徹し、自治会が自らの力で、より良い地域を築いていくための伴走者であるべきだと考えています。

議員が提案された先進的な取り組みを主体的に実施すると判断される自治会がある場合には、町としても情報収集や課題の検討、さらには活動内容を共有する機会の提供など、間接的な協力は検討させていただきます。



2番議席 波多野光雄 議員



今後も全ての自治会が、町民の皆様にとって無くてはならない存在であり続けることができるよう、自治会の「自主性」を最大限に尊重しつつ、できる限りの支援を行ってまいります。



## 議会日誌

2025 10月

- 17日 ● 議員懇談会  
● 東員町議会との合同研修会
- 20日 ● 桑名広域清掃事業組合第3回臨時会（議長）  
● 町村議会議長会県議会に対する要請活動（議長）
- 27日 ● 桑名・員弁広域連合監査（副議長）
- 28日～29日  
● 町村議会議長会県外行政視察（議長）

2025 11月

- 2日 ● 秋の文化祭（議長）
- 6日～7日  
● 県外視察研修（東京都・神奈川県開成町議会）
- 10日 ● 例月出納検査・定期監査（監査委員）
- 11日 ● 定期監査（監査委員）
- 12日 ● 福岡県川崎町議会視察受入（副議長・総務建設常任委員長）
- 12日～13日  
● 町村議会議長会全国大会（議長）
- 15日 ● 戦没者追悼式
- 20日 ● 議会広報常任委員会  
● 議員懇談会  
● 議会全員協議会
- 24日 ● 新丸山ダム定礎式（議長）
- 27日 ● 議会運営委員会

2025 12月

- 3日 ● 定例会（開会日）
- 7日 ● 二十歳のつどい実行委員と語る会（議長）
- 9日 ● 定例会（一般質問日）
- 10日 ● 例月出納検査（監査委員）
- 11日 ● 定例会（閉会日）  
● 議員懇談会
- 16日 ● 観光協会総会（議長）
- 23日 ● 桑名・員弁広域連合監査（副議長）  
● 空家等対策協議会（総務建設常任委員長）
- 24日 ● 議会広報常任委員会

2026 1月

- 6日 ● 議会広報常任委員会

## 傍聴者の声

- 予算を伴う条例議案は順序として予算議案の前に審議するべきではないか。

○ 給与条例改正とそれに伴う補正予算の上程順については法令上の決まりはありませんが、ご指摘の「条例を先、補正予算を後に」という考え方も踏まえ、今後の議事日程の組み方を検討していきます。

定例会を傍聴して頂きありがとうございました。第4回定例会を傍聴された方は5名でした。毎回、定例会では傍聴アンケートをお願いし、議会運営の参考とさせていただきます。今後ともご理解ご協力をお願いいたします。

## 各議案の賛否

第4回定例会議案等の審議結果です。

### ● 第4回定例会審議結果

・・・全議案全会一致で可決。

審議の内容は、木曾岬町議会会議録（福祉・教育センター2階、議会図書室にて公表）でご覧いただけます。

また、役場ホームページでも議事録を順次公開しております。



## みなさまのご意見を募集しています。

議会に対して、普段、感じていること、疑問に思うこと。また、要望など、どのような内容でも結構です。ご意見、ご質問をお寄せください。

提出先

議会広報常任委員会（議会事務局）

TEL 68-6108

FAX 66-3111

E-mail: gikai@town.kisosaki.mie.jp

## 議会をぜひ、傍聴にきてください。

議会は、どなたでも傍聴することができます。皆様の生活に直結した重要な問題が審議されます。お気軽にお越しください。

本会議の当日、議場入口で傍聴の受付をしています。

次回、3月定例会、本会議の予定です。

- 3月 4日(水) 午前9時 開会、議案上程
- 3月 9日(月) 午前9時 教育民生常任委員会
- 3月 11日(水) 午前9時 総務建設常任委員会
- 3月 16日(月) 午前9時 一般質問
- 3月 19日(木) 午前9時 議案採決、閉会

なお、各日程等は変更する場合がございますので、お手数ですがホームページまたは議会事務局までお問い合わせいただけますようお願いいたします。

## 編集後記

議会だよりは、町民の皆さまに町議会の活動や議論の内容を正しくお伝えする大切な役割を担っています。難しい専門用語をできるだけわかりやすく、親しみやすい表現でお届けすることを心がけています。これからも、町民の皆さまが議会の動きを身近に感じ、町づくりに関心を持っていただけのような、「見て」「読んで」「理解できる」議会だよりの作成に努めてまいります。

さてここに第126号の議会だよりをお届けします。紙面へのご意見・ご感想などをお待ちしております。議会広報常任委員会一同

